



Sasayama Elementary School

学校だより

自分大好き、友だち大好き 進め！笹山の子

令和元年 11月28日発行

令和元年度 第8号

横浜市立笹山小学校

TEL 382-1161 FAX 381-7384

ふるさとを想う

学校長 荻原規彦

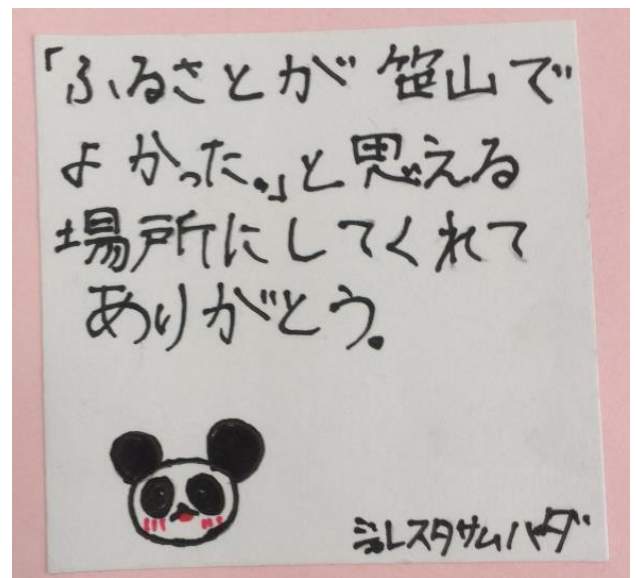
11月16日(土)笹山小学校としては、最後のミュージックフェスティバルが行われました。この日のために夏休み前から授業だけでなく休み時間も使って、少しずつ準備を重ねてきました。合唱や合奏は、自分だけが主張したり競い合ったりするのではなく、友達の歌や演奏を聴いて合わせて、ハーモニーを楽しむものです。子どもたちは自分のことで精一杯ですが、あえて周りの音を意識させることで、自分の技術を高めていきます。子どもたちは、少しずつ高くなるハードルを越えて、どんどん上手になっていきました。

途中、宿泊学習や修学旅行、遠足、体育大会などの行事もありましたが、集中を切らさず直前の全体練習を通して、楽しい中にも一本筋の通ったものに仕上がり、当日を迎えました。会場には朝早くから保護者や地域の方など多くの方にいらしていただき、用意していた椅子が足りなくなるほどでした。

ミュージックフェスティバルではありますが、音楽の発表に限らず、劇仕立ての進行やパフォーマンスなど、これまでの学習の成果が分かる内容で、子どもたちの一年間の成長がよくわかるものでした。笹山小学校の少人数の良さを生かした2学年合同の演目では、練習の時から先輩・後輩の助け合い・励ましあいが見られました。地域の松野様のご指導によるお囃子や獅子舞は、ふるさと笹山を忘れないものにしてくれたと思います。最後の『ふるさと』では、子ども、教職員、保護者、地域の方が一つになって、笹山小学校らしいものになりました。

会場にはミュージックフェスティバルを盛り上げようと、子どもたちの作品やミュージックフェスティ

バルに向けた意気込み、笹山小学校への感謝のコメントが飾られていました。これは、その中の感謝のコメントの一つです。



ふるさと笹山への想いが詰まった、とても素敵なコメントで、笹山で生活する人たちにとっては、最高の称賛となります。

子どもたちのがんばりと職員の熱意、そしていろいろな人の応援に支えられて、最後のミュージックフェスティバルは、最高のミュージックフェスティバルとなって、無事に終了しました。見ていただいた方にはおわかりのように、子どもたち一人ひとりの良さが生かされ、サプライズもあり、とても感動的なものになりました。この日のことは子どもたちの心にも深く刻まれたことでしょう。

令和2年2月29日(土)のありがとうの会でも、今回の一部のプログラムを披露させていただく予定です。

閉校まであと4か月、最後まで充実した学校生活になるように努力していきたいと思います。